



ま ち の 話 題



問 まちづくり推進課：0869-22-1031

防火防災体制のさらなる充実強化を

瀬戸内市消防出初式

1月20日、中央公民館（邑久町尾張）で、瀬戸内市消防出初式を行いました。消防団員など約500人が参加した式典では、武久顕也市長が「安全安心の確保のため、今後もさらに災害対応力の強化を進めていかなければならない」などと述べました。

その後、効果的な消防活動を目的に再編成され、1月から新体制で活動を行っている消防団の分団長や新入団員に辞令を交付しました。

また消防活動により功績のあった消防団員などに対し、表彰状を授与しました。

最後は、瀬戸内市消防の発展を願い万歳三唱を行い式典を終了しました。



万歳三唱（左下）／再編成された消防団の分団長に辞令を交付（右上）

栄養たっぷりのカキはいかが

邑久町漁協のかきまつり



蒸しカキも無料で振る舞われました

1月27日、邑久町漁業協同組合の主催で、邑久町漁協かきまつりが同組合（邑久町虫明）で開催されました。

水揚げされたばかりの新鮮な殻付きカキなどを買い求めようと、開始30分前にはすでに市内外からの来場者による長蛇の列ができていました。

殻付きカキとむき身カキのセットは、販売開始から10分ほどで売り切れ、その後間もなく半斗缶入りの殻付きカキも完売するなどの盛況ぶり。

殻付きカキのパケツ詰め放題コーナーや蒸しカキ、カキ汁が無料で振る舞われるコーナーもあり、来場者は、冬の味覚を満喫していました。

いつまでもお元気で

森景さんと行上さんが満100歳に

1月28日、満100歳を迎えた森景春子さん（邑久町尻海）のお祝いに、土井和子保健福祉部長らが、入所している施設を訪問しました。森景さんの趣味は旅行、詩吟、編み物など。歌が得意で最近までカラオケを楽しんでいたそうです。

また、1月15日、満100歳を迎えた行上冬子さん（邑久町山手）のお祝いに、土井和子保健福祉部長らが入院されている病院を訪問しました。行上さんは、夫が39歳で早逝した後、米やハッパを栽培するなどし、3人の子供を育てました。

森景さん、行上さん、これからもますます元気でお過ごしください。



お祝い状が贈られた森景さん（写真中央）

玉鋼を打つ音が鳴り響く

備前おさふね刀剣の里打初式

1月13日、備前おさふね刀剣の里（長船町長船）で、1年の精進と無事故を祈る打初式を行い、刀匠が火床に新年最初の火をおこしました。

一般来館者が鍛錬に参加できるのは、1年でもこの日だけとあって、多くの人が訪れ、真ッ赤に熱せられた玉鋼を打ちました。重い槌を振りかぶって力を込めて打つと、キーン、キーンという音が鳴り響きました。



玉鋼を打つ参加者

百人一首に挑戦

長船町公民館わくわくチャレンジ



白熱した散らし取り

1月12日、長船町公民館（長船町土師）で、わくわくチャレンジ（百人一首をしよう・ぜんざいをたべよう）を行いました。

百人一首では、幼児、児童らとその保護者らが3組にわかれて、まずは、「散らし取り」に挑戦。講師の水田正子さんが上の句を読み上げると、子どもらは、取り札を「はい！」と元気良く声を上げながら取っていました。また「坊主めくり」も行うなどして日本の伝統文化に親しみました。

百人一首を楽しんだ後は、公民館ボランティアの人が準備した温かいぜんざいを食べ、お正月のひとつときを楽しんでいました。

早稲と中生は豊作

春日神社のト祭

1月20日、春日神社（牛窓町長浜）で、年の稲作・畑作の豊作不作を占う筒粥神事「ト祭」が行われました。ト祭は、大豆と小豆を少し入れた粥を炊く大釜の中に、早稲・中生・晩生と書いた3本の竹筒を入れ、筒に入った粥の量で稲作の、大豆・小豆の量で畑作の豊作不作を占う神事で、市の重要無形民俗文化財に指定されています。

1年の豊作を願う祈年祭が行われたあと、田村典彦宮司が炊き上げた粥の中から取り出した竹筒を開き、それぞれの筒の中を確認、早稲と中生は豊作、晩生はいまいちだが、総じて今年はよい。畑はあまり良くないと述べました。



開かれた竹筒（左下）／田村宮司から説明を受ける氏子ら（右上）